

株主通信

第114期 事業報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

kitagawa
株式会社 北川鉄工所
証券コード:6317

会社の概況 (2024年3月31日現在)

商号 株式会社北川鉄工所 (英文名:Kitagawa Corporation)
本店所在地 広島県府中市元町77-1
設立 1941年11月28日
資本金 86億4千万円
従業員数 1,427名
事業内容 工作機器事業、産業機械事業、金属素形材事業

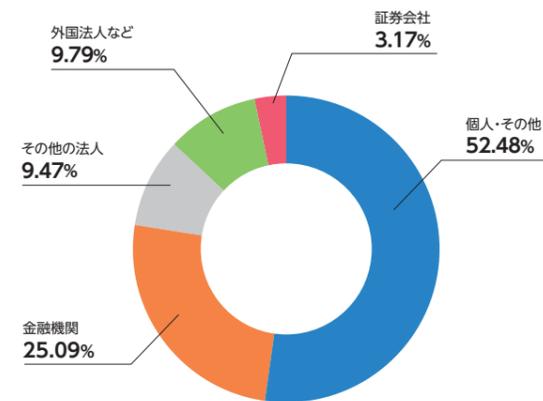
役員 (2024年6月21日現在)

代表取締役 会長	北川 祐治
代表取締役 副会長	北川 宏
代表取締役 社長執行役員	岡野 帝男
社外取締役	西川三佐子
社外取締役	杉口 安弘
社外取締役(常勤監査等委員)	野上 武志
社外取締役(監査等委員)	貝原 潤司
社外取締役(監査等委員)	平 浩介

株式の所有者別状況

発行可能株式総数 普通株式 30,800,000株
発行済株式の総数 普通株式 9,650,803株
株主総数 9,918名

株式の所有者別状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,040	11.28
北川鉄工所みのり会	684	7.42
株式会社広島銀行	446	4.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	257	2.79
北川鉄工所自社株投資会	240	2.61
みずほ信託銀行株式会社	230	2.49
秋元 利規	200	2.17
朝日生命保険相互会社	171	1.86
北川 祐治	136	1.48
損害保険ジャパン株式会社	129	1.40

(注)1 当社は自己株式(420,342株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2 持株比率は自己株式(420,342株)を控除して計算しております。
3 北川祐治氏の特株数には、役員持株会を通じての保有分(1株未満切捨て)を含めております。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、中東やウクライナ情勢等の地政学リスクの高まりや中国経済の減速、インフレの長期化に伴う金融引き締めなどにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。一方、わが国経済は、為替の大きな変動や株式価格の高騰など大きな変化がある中で、消費者物価の上昇や海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクはあるものの、回復基調で推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは長期経営計画「Plus Decade 2031」で掲げる世界基準の成長を目指し、事業構造の転換、経営品質の進化、人材育成などの施策を中長期的な視野で推進してまいりました。

当期末の配当金につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。

そして、このたび、当社は長期経営計画「Plus Decade 2031」の実現に大きく貢献いただけるかと判断し、代表取締役社長執行役員として岡野帝男さんを迎えました。新たな経営体制で、一丸となり企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 **北川 祐治**



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日

配当金受領株主確定日 中間配当 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

お問合せ先 〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(通話料無料)
※土・日・祝日を除く9:00~17:00
電子提供制度専用ダイヤル
0120-524-324(通話料無料)
※土・日・祝日を除く9:00~17:00

公告方法 当社ホームページにて電子公告しますが、やむをえない事由によって電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

住所・氏名の変更、配当金の受領方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増請求等の手続きのご案内

株主様が口座を開設されている証券会社にお申出ください。なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(左記のお問合せ先)にお申出ください。みずほ信託銀行国内本支店(トラストラウンジを除く)においてもお取扱いたします。

未払配当金の支払いに関するお問合せ先

みずほ信託銀行国内本支店にてお支払いいたします。また、みずほ銀行国内本支店にてお取次ぎのみ可能です。

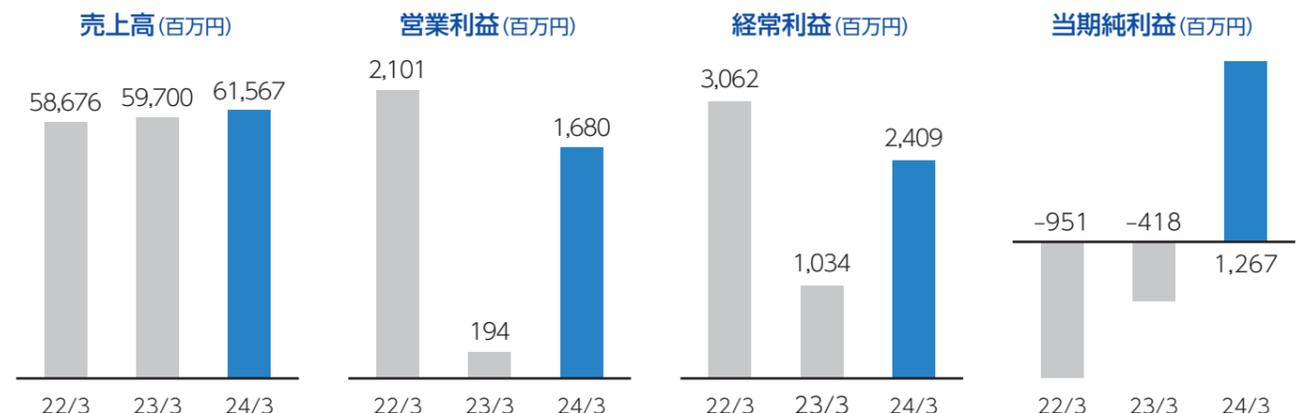
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)に関するお問合せ先

お取引の証券会社またはみずほ信託銀行(左記の電子提供制度専用ダイヤル)までお問合せください。

特別口座をご利用の株主様へ

特別口座に記録されている株式は、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買ができません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。お手続きについては、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行(左記のお問合せ先)にお問合せください。

連結決算ハイライト



インターネット上で、いつでも最新のkitagawa情報をご覧いただけます

[https:// www.kiw.co.jp /](https://www.kiw.co.jp/)



UD FONT



セグメント別の概況

キタガワ グローバル ハンド カンパニー(工作機器事業)

工作機械業界は、国内の半導体や自動車関連の需要が低調であったことに加えて、海外では中国の景気減速による企業の設備投資などが伸び悩んだことにより、軟調に推移しました。

このような状況のもと、当カンパニーでは、新商品開発スピードの向上やメキシコやインドを中心に海外販売網の拡大、リードタイムの短縮による生産性の向上などに取り組んでまいりました。

また、当カンパニーでは、新工場の建築工事を進めております(2024年12月完成予定)。生産管理システムを進化させ、品質管理や生産能力の最適化を推進してまいります。



工作機器



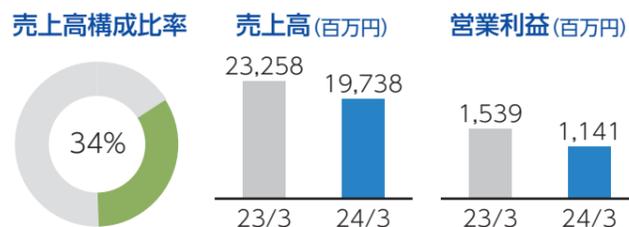
産業ロボット用グリップ

キタガワ サン テック カンパニー(産業機械事業)

国内の建設業界は、公共投資が堅調に推移しました。民間建設投資につきましても、一部で弱含みが見られますが、堅調な企業収益を背景に全体としては底堅く推移しました。しかしながら、慢性的な建設労働者不足による労務費の高騰や建設資材価格の高止まり等の影響も受け、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当カンパニーでは環境問題に対応した新たなコンクリートプラント設備の開発、ビル建設用クレーンの技術を活用した商品開発による新市場の開拓、スーパーロングスパンタイプ立体駐車場の拡販等に努めてまいりました。

また、当カンパニーでは、長期経営計画「Plus Decade 2031」の達成に向け、営業力の強化(さいたま)、技術者の確保(広島、福山)を目的として新たに3つの拠点を設置しました。



コンクリートプラント



荷役機械



自走式立体駐車場

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー(金属素形材事業)

自動車業界は、部品の供給不足の問題が解消され、自動車メーカーの生産が正常化に向かい、回復基調で推移しました。一方、農業機械・建設機械業界につきましても、北米の金利上昇や中国でのエンジン需要の低下などの影響により市場が弱含みで推移しており、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当カンパニーでは高騰した原材料およびエネルギー価格の販売価格への転嫁、生産コストの低減を推し進め、収益確保に努めてまいりました。また、メキシコ子会社では自動車のEV化が進展する中でも継続的に需要が見込める駆動系部品の受注に注力してまいりました。その結果として収益改善が進み、黒字となりました。



建設機械部品



農業機械部品

トピックス

新社長インタビュー



株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長執行役員に就任いたしました岡野 帝男と申します。

長期経営計画「Plus Decade 2031」の実現に向け尽力するなかで、企業価値の向上に努めていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員 **岡野 帝男**

PROFILE

氏名	岡野 帝男(おかの きみお)	
生年月日	1963年1月12日	
出身地	広島県	
略歴	1986年4月	株式会社広島銀行入行
	2009年4月	同社笠岡中央支店長
	2012年4月	同社府中支店長(2015年3月まで)
	2017年4月	同社執行役員福山営業本部長
	2019年4月	同社常務執行役員
	2021年6月	同社取締役常務執行役員
	2022年6月	しまなみ債権回収株式会社代表取締役会長
	2023年4月	当社顧問

Q 北川鉄工所とは、いままでのような関わりがあったのでしょうか。

A 広島銀行で笠岡中央支店長を務めていたとき、JIMTOFに出展している備後地域の企業ブースを中心に見て回るなかで、北川鉄工所に出会い、面白いものを作られているなど感じていました。

府中支店長になり、北川鉄工所を担当するようになってからは、関係性が深くなりました。北川鉄工所はチャックだけかと思っていましたが、北川鉄工所の国内各工場やメキシコ子会社の工場火入れ式も見学させていただくなかで、このように幅広いものづくりをされている、グローバル企業が府中にあることを知り、素晴らしい企業だなと思いました。

その後も北川鉄工所との交流は続いておりましたが、今回の社長就任のオファーをいただいたことは、私にとってまさに青天の霹靂でありました。

Q ご自身の強みは何だと思われますか。

A 銀行員時代に築いた幅広い知見と人脈を活かしたいと思います。

また、私は理系出身ではありませんが、新しいものをつくるものづくりが好きで、どのような技術が世の中にあるのか、担当エリアの会社が出展する展示会の見学や工場見学を行うなかで興味深く学んでおりました。今回 開発本部長という職も拝命しましたが、社会に役立つ「ワクワクする」ものづくりを目指して取り組んでまいりたいと思います。

Q 今後の経営方針と抱負についてお聞かせください。

A 基本的には現行の経営ビジョン、4つの価値観といった基盤を軸に経営にあたっていきたくと思っています。

4つの価値観を自分なりに解釈すると、会社組織・社員の価値判断・行動基準について非常に大切なことがまとめられていると感じます。これらをさらに深化させていきます。

- ①お客様第一主義
顧客ニーズを深堀・課題解決を図るなかでWin-winの関係づくりの強化
- ②素直な心と勇氣
物事の本質を捉えチャレンジする意欲とそれを許容する社内風土の醸成
- ③社員満足(人間的な魅力を高める)
ポジティブシンキングで前向きに取り組める環境づくりと、目標を設定して各自が自己実現をしていける環境づくり
- ④イノベーション
時代の変化や顧客のニーズを的確に把握し、社会貢献に寄与する魅力的な商品開発を目指す

仕事には必ず壁があると思いますが、社員には挑戦してほしいし、それをフォローできる組織でありたいと思います。